

授業の実際

研究に関連のある 1, 3, 4 時目について書いています。思考が働いていると捉えられる児童の言動に下線

1 時目 児童の活動	HRT の具体的な手立て (O) と発問等 (T)、児童の反応 (C)								
<p>○パフォーマンス課題を設定する。</p>	<p>○単元のゴールに何を発表したいかを主体的に考えさせた。</p> <p>○より相手意識をもって思考を働かせるために、友達のことを見つけ、友達のことを発表する機会にした。</p> <p>T: 先生たちの「できること」が分かったけど、単元の最後に、英語で、誰の「できること」を伝えたいですか？</p> <p>C: <u>友達の「できること」を発表したい。</u></p> <p>C: <u>先生のことを言いたい。</u></p> <p>T: 「できること」って、どんなことがあるかなあ。</p> <p>T: 何人の友達のことを伝えたいですか？</p> <p>C: 5 人。</p> <p>C: クラスみんなのことを伝えたい！</p> <p>○単元のゴールを児童に決めさせた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 友達や先生の「できること」を発表しよう！ </div> <p>○発表したい友達や先生の数についての指標を伝えた。</p> <table border="1" data-bbox="571 981 1361 1084" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">判断するめやす (判定基準)</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: center;">B</th> <th style="text-align: center;">C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">4 人以上</td> <td style="text-align: center;">1 ~ 3 人</td> <td style="text-align: center;">0 人</td> </tr> </tbody> </table>	判断するめやす (判定基準)	A	B	C		4 人以上	1 ~ 3 人	0 人
判断するめやす (判定基準)	A	B	C						
	4 人以上	1 ~ 3 人	0 人						

3時目 児童の活動	HRTの具体的な手立て(O)と発問等(T)、児童の反応(C)								
<p>○絵本の読み聞かせを聞く。</p> <p>○友達や先生の「できること」を発表する準備をする。</p> <p>a)何を言うか考える。 b)どの英語表現を使うか考える。 c)どのように伝えるか考える。</p>	<p>○絵本“<u>This is ME.</u>”を読み聞かせた。 「できること」には、いろいろなことがあること、人を助けることができる人もいることに気付かせた。 C：<u>できることは、人それぞれ。</u> C：<u>何か必ずできることはある。</u> C：<u>自分にしかできないことを見つけてするのはすごい。</u></p> <p>○「できること」を考えると、相手に英語で質問をしたり、日頃の様子を思い浮かべさせたりした。 ○絵カードを作って、発表するときにもよいことを伝えた。 ○どのように何を伝えたらいいのか迷っている児童に寄り添い、思いを引き出し、相手に伝えたい気持ちで考えようとしている態度をほめた。</p> <p>○発表の仕方の例を提示した。 C：<u>① ○○さん。 ② You can ～～。 ③ ～～だからです。 (理由：日本語でも可)</u></p> <div data-bbox="1002 752 1398 1048" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">どのように伝えるか考えている児童</p> <p>○英語表現について、ALTにも尋ねさせた。 ○発表する内容についての指標を伝えた。</p> <table border="1" data-bbox="523 1223 1417 1509"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>判断する めやす (判定基準)</td> <td>友達の「できること」を、英語表現を使って伝え、理由も言うことができる。</td> <td>友達の「できること」を、英語表現を使って伝えることができる。</td> <td>友達の「できること」を伝えることができない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>C：<u>いろいろな人の良いところが思いついた。</u> C：<u>人のできることを考えることが、なんかめっちゃ楽しく感じました。</u> C：<u>跳び箱は、ジャンプボックスかな？</u> C：<u>知っている数少ない外国語を、みんなに<u>伝わるように工夫する</u>のは大変だけど、上手に重ねてみます。</u> C：<u>英語で何と言おうか考えるのが楽しかった。</u></p>		A	B	C	判断する めやす (判定基準)	友達の「できること」を、英語表現を使って伝え、理由も言うことができる。	友達の「できること」を、英語表現を使って伝えることができる。	友達の「できること」を伝えることができない。
	A	B	C						
判断する めやす (判定基準)	友達の「できること」を、英語表現を使って伝え、理由も言うことができる。	友達の「できること」を、英語表現を使って伝えることができる。	友達の「できること」を伝えることができない。						

4時目 児童の活動	HRTの具体的な手立て(○)
<p>○友達や先生の「できること」を発表する。</p>	<p>○外国語活動のねらいに沿って、発表の仕方、聴き方を押さえた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • Eye contact • Listen carefully • Think • まちがい OK </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Reaction return</p> <ul style="list-style-type: none"> • I see. • Good! • Really? • OK! • Nice! • Me too. • Wow! </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>Smile</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Eye contact</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Think → Clear voice</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>Listen Think</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Reaction</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>まちがいOK</p> </div> </div> <p>※児童の発表内容の一部については、「3 授業実践(2)検証授業の分析と考察」に記載しています。</p> <p>○慣れ親しんだ英語表現を使って表現していることをほめ、次に発表しようとする児童のモデルにした。</p> <p>○「できること」には、いろいろなことがあること、人を助けることができる人もいることに気付かせた。</p> <p>○発表の様子を見て、言いにくそうにしている児童がいたら、一緒に言いながら支援した。</p> <p>○児童の表現をほめながら、よりよい表現の仕方があれば、アドバイスした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>4時目の板書</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>発表をする児童</p> </div> </div>